

SINCE 1977

Light Friend Association

122号



LEFA



社会福祉法人 光 友 会 会報

光友会ホームページ <http://www.lfa.jp>

Mackenzie-Thorpe

太陽の家 福祉絵画展に ご来場ありがとうございました

マッケンジー・ソープ
の世界



もくじ

■太陽の家福祉絵画展	P1
■2013年度光友会決算報告	P2・3
■コラム「あーいえばこーゆーかい」(22) ..	P4
■事業所だより	P4・5
■いぶきチャリティーコンサートご案内 ..	P6
■行事案内	P7
■光友会事業推進協議会だより	P8

太陽の家福祉絵画展では、多くのお客様にご来場いただき、ありがとうございました。マッケンジー・ソープさんも来場され、暖かい愛と力強いメッセージ、多くの感動をいただきました。ご協力いただいた皆さんに、感謝と御礼を申し上げます。

あーいえばこーゆーかい 22

理事長 五十嵐 紀子

「マッケンジー・ソープ画伯について」

去る6月21日から23日までの3日間、当法人の事業所である「藤沢市太陽の家」で、実行委員会を立ち上げて初めての絵画展を開催した。主たる作品を展示された画家が今回登場する主人公である。名前は“マッケンジー・ソープ”。既に彼のことを存じ上げている方も多いと思うが、改めて紹介すると、彼はディスレクシア（難読症）という日本では学習障害という障害を持った画家である。

絵画展の2日目に子ども達へのワークショップを開いてくださった後で、トークセッションがあり、そこで語ってくれた略歴を改めて紹介する。

「自分は、イギリスの北部にあるミドルズブルクという造船の街で1956年に生まれ、現在58歳である。小さい頃は、落ち着いて勉強もせず、また字も読めない。学校の先生からは、学校へ来るなど言われた。自分は小さい頃から絵ばかりを描いていた。学校も中退し、働いていた自分が叔父のすすめで美術学校を受験した。学校は最初、彼の

経歴を見て貴方の来る所ではないと言ったが、自分の描いた作品を見て、即時入学を許可され、マスター称号も受けた。その後ロンドンの美大でドクター称号をもらった。ちなみに自分の一族の男性は皆同じ障害を持っているが、自分の息子は学校の教員資格を持ち、また娘は俳優として活躍している。若い頃結婚なんて考えられなかった自分が、今はこうして幸せに暮らしている。

人間だれでも生まれた時は、大きな頭を持ち、いろんな夢と可能性を持っている。是非ひとりひとりが夢を持つことを諦めないで欲しい。夢を持ち続ければ、何時かそれは実現する。」と語られたのである。

現実に戻って、私達の周辺を見渡して、こんな大きな夢を実現出来る可能性は、どの位あるかを考えてみた。才能が非常に優れていても、社会の中で一般健常者と全く差別のない評価の中で、ドクター称号を得られ、社会的認知を受けられる人はどれ位あるのか。絵画だけではなく、全ての分野についても同様の事がいえると思う。

1日も早く日本中で、差別のない安心して暮らせる社会の実現を私は心から望んでいる。

今年1月、世界で142番目の批准国となった日本の「障害者差別解消法」との関係性を持つ、障害者権利条約について、こころから多くの皆さんの様々な議論をお願いしたい。

事業所だより

希望の郷

森 淳

ここ近年、全国の身体障害者入所施設をはじめ福祉施設では、福祉介護機器の導入を進めているところが増え、先日の報道でも取り上げられました。これは、重度化している入居者への安全な対応や職員の腰痛予防、労働環境の改善等を図るためでもあります。

湘南希望の郷においても、施設環境の改善と入居者への安全な対応をより図るべく、福祉機器や福祉用具の導入を進めているところです。その中で、使わなくなった電動ベッドや移動式リフト、ポータブルトイレをお譲りいただける方がいらっしゃいましたら、希望の郷までご連絡ください。



電話 0466-48-4500

しいの実学園

鈴野 めぐみ

6月1日に太陽の家まつりが行なわれました。当日はとても暑く感じるほどの晴天に恵まれ、学園のお子さんやそのご家族、大勢の来客の方々が太陽の家に足を運んで下さいました。卒園児や保護者の方も家まつりを楽しみにして頂いているようで今回も沢山の方がいらして下さいました。

さらさら
体育館では、「咲楽楽」の太鼓や、兄弟デュオ「K&K」の音楽をととても楽しみにして来て下さるお子さんや持ってきたおこずかいをすべて使ってしまいうらい買物を満喫していたり、汗をかきながら、夢中で遊びのコーナーを楽しんでいるお子さんの姿を見て、職員も元気をもらう事が出来ました。



事業所だより

Light Friend Association

ライフ湘南

松井 正志

4月、新規利用者2名(総勢74名)を迎えたライフ湘南は、恒例のお花見行事を行いました。昼食後、お楽しみのお菓子とお茶を用意し、歩いて遠藤公園へ向かいます。現地は風が強く、はためくブルーシートが吹き飛ばないように、みんなで重し代わりに転がります。お菓子を頬張りながら、しばし団らんを楽しんだ後は、遠くに離れて一人でゆっくりと過ごす方、公園の遊具で遊んだり「鬼ごっこ」や「ダルマさんが転んだ」をしたりと、思い思いに楽しい時間を過ごされました。

6月、「障害者虐待防止法の理解」をテーマに職員研修会(非常勤職員含む)を開催しました。法の理解はもとより、利用者の方々に対する人権への配慮や、支援場面を想定したロールプレイによる事例検討を行い、支援技術向上の取組みを進めています。



神奈川ワークショップ

相原 佐登美

体験！じゃがいも堀

「かわうそ農園」の野菜を地域の皆様に収穫していただき交流を深めていけるよう、寒川にある「相和幼稚園」の園児7名と保護者の方々に参加していただきました。

畑担当の利用者さんが土を掘り、土の中からマルマル育ったじゃがいもを園児の皆様が一生涯懸命に収穫している姿は笑顔に満ち溢れ、大変楽しい時間を持てたと思います。今後も地域交流の場として「かわうそ農園収穫体験」を実施できればと思います。



藤の実学園

澤野 亮介

4月25日新年度に入って最初の行事「ハイキング」が行われました。それぞれの体力に合うように考えられた道のりで、辻堂サーフビレッジを目指しました。5月に入ると観光バスでの日帰り旅行です。美味しい昼食と航空科学博物館を楽しみました。そして6月に入り「太陽の家祭り」が開催されました。初夏を感じながら、活気に満ちたお祭りならではの雰囲気を楽しみました。



まな板のお礼

KSS・ライフ湘南

当法人の落合文雄理事より、写真の様な立派な「まな板」を2枚御寄贈頂きました。

現在、KSS(光友会事業サポートサービスセンター)とライフ湘南にて、まな板に負けない立派な料理作りに使わせて頂いております。誠に有難うございました。



IBUKI CHARITY CONCERT

いぶき 10周年特別チャリティーコンサート のご案内

出演 指揮者：金 聖響(きむ せいきょう)
 ピアノ：鶴木 日土実(うのき ひとみ)
 管弦楽：神奈川フィルハーモニー管弦楽団
 司会：永井 邦子

曲目
 チャイコフスキー/ピアノ協奏曲 第1番 作品23 変ロ短調
 プラームス/交響曲第2番 二長調 Op. 73



2014年 9月6日(土)

開演 14:00 (開場 13:20)
会場 横浜みなとみらいホール大ホール

★チケット料金 (全席指定) 税込
 B席 3,000円
 A席 4,000円
 S席 5,000円

チケット取扱い・お問い合わせ先

横浜みなとみらいホールチケットセンター (窓口販売のみ)
 e+ (イープラス) <http://eplus.jp> (PC・携帯からご購入できます。)

いそご地域活動ホームいぶき後援会事務局
 (電話 045-778-1228) 担当 奥田、伊東



「(福)光友会いそご地域活動ホームいぶき」は今年開設10周年を迎えることができました。いぶき後援会では10周年を祝い、下記のようなチャリティーコンサートを企画いたしました。
 今年は磯子を飛び出し、より大きなホールでオーケストラをお招きいたしました。このコンサートの収益は、「いぶき」の活動に役立てます。
 皆様お誘いあわせの上、是非ご来場くださいますようお願い申し上げます。

IBUKI CHARITY CONCERT

湘南台地域包括支援センター改め

センター長 鎌田 実

「湘南台いきいきサポートセンター」からのお知らせ

○自立した生活が送れるよう支援します。

介護保険で要支援と認定された方や介護が必要となった方がより自立した生活を続けられるよう、介護予防プラン作成や健康づくりのための事業などをご紹介します。

○みなさんの権利を守るよう支援します。

成年後見制度や高齢者虐待に関する相談支援をおこないます。

○多方面からみなさんを支えます。

地域のケアマネージャーや医療機関との協力、地域でのネットワーク作りなど高齢者の暮らし全体を支えます。

高齢者の方だけでなく、ご家族、ご近所の方などからも高齢者に関する相談をお受けしますので、お気軽にご相談ください。

連絡先 電話0466-45-2300 FAX0466-45-3313



寄贈車御礼

ありがとうございます

神奈川ワークショップの公用車整備に伴い、「神奈川県遊技協同組合・神奈川福祉事業協会」様より助成金をいただき、新しい福祉車両が届きました。

配達・販売等、多くの利用者の方々の就労支援として地域で活躍してくれることと思います。大切に使用させていただきます。本当にありがとうございました。

井地 洋平



チャリティーゴルフ 大会からのご寄附お礼

6月11日県内で開催されましたチャリティーゴルフコンペ実行委員会から光友会にご寄附がありました。

ありがとうございました。障害者のために役立たせていただきます。

寄附 10万円

寄附団体 誠和会チャリティーゴルフコンペ実行委員会

第22回

ふくし村まつり

のお知らせ



8月31日 15時30分～

来る8月31日(日)午後3時30分より、今年で22回目になる光友会の名物イベント「ふくし村まつり」を湘南ふくし村(藤沢市瀬郷1008-1)で開催いたします。

地元太鼓連による太鼓の演奏に始まり、各種模擬店、音楽イベント、豪華景品の抽選会、祭りの最後を飾る打ち上げ花火など、楽しい企画が盛りだくさんです。

地域の方々、施設利用の皆さんと職員が力を合わせて、思い出に残る夏の祭典にしたいと思います。

皆さまご参加、ご協力をお願いいたします。



粋な笑いを お楽しみください

今年も恒例となった「希望寄席スペシャルステージ2014」が、9月12日(金)湘南台文化センター市民シアターで開催されます。

今回の出演者は、地元大阪では上方の爆笑王と知られ、今、東京でも最も注目度の高い噺家のひとりでもある、桂雀々師匠を始め、「唄うアコーディオン弾き」遠峰あこ、三遊亭兼好、立川春吾、瀧川鯉〇の皆様です。

毎年、この希望寄席を通じ多くの方々に笑いをお届けできればと思っております。今年も皆様のご来場を心よりお待ちしております。



光友会事業推進協議会だより

●光友会事業推進協議会 代議員会 (総会)

新会長に松沢明彦氏～推進協活性化に期待～

5月17日10時から地域交流ホームかわうそにて推進協代議員会(総会)が多数の会員のもと開かれました。

保谷秀樹前会長のご挨拶、五十嵐紀子理事長のご挨拶がありました。役員改選で、新会長に湘南希望の郷開所時の職員で、現在は神奈川工科大学講師の松沢明彦氏(写真)、会計に二見隆江が新任されました。



●2014年事業計画〈重点項目〉

光友会を支える五つの輪(利用者・家族・職員・役員・市民)の協力で、光友会事業推進がスムーズに行くように、協力体制の強化を図る。そのため、それぞれの輪をさらに大きくするため、どの様にするべきか、新会長の下、「推進協活性化プロジェクト2014」を作成する。構成メンバー等については、6月以降の企画運営会議(毎月第1水曜日13:30~14:30)で協議し、当プロジェクトを推進していく。

●平成25年度決算報告

①収入 会費納入額1,503,500円(346名)、バザー売上げ140,815円、回収はがき139,820円、利息141円前期繰越金57,901円 決算合計

1,842,177円(光友会に1,500,000円寄付)

②支出 事務用品1,326円、印刷費67,952円、発送費49,040円、活動費20,816円、広告費5,000円、振込手数料9,010円、雑費2,500円、光友会寄付1,500,000円、次期繰越金186,533円、合計1,842,177円

完璧を求めず バトンを繋ぐこと

光友会事業推進協議会 会長 松沢 明彦

前会長 保谷秀樹さんよりバトンを引き継ぎました 松沢明彦と申します。今から27年前、身体障害者療護施設 希望の郷がオープン。私は新人職員として採用され、介護業務を中心に約3年6ヶ月在職をしました。日々の仕事を通じて、入居者の方から『そのままの生き様』を教わりました。

その後光友会を離れ、生活協同組合を母体とするデイサービスセンター、特別養護老人ホーム等の高齢者福祉施設の立ち上げ・運営に関わりました。この時期、趣味の山登りにどっぷりはまり、『山懐』に包まれる気持ち良さ、自己存在の小ささ、自然との『気』の交流に身を置きました。屋久島の翁杉と友達(勝手な思い込み)になり、五感+αの『気の世界』を知りたくて、鍼灸・マッサージの技術習得のため、仕事を離れ専門学校を叩きました。

現在は、高齢者、障がい者の方々への鍼灸、あん摩・指圧・マッサージの施術、大学・講習施設等にて福祉関係講義の講師、福祉クラブ生活協同組合顧問、その他の仕事に関わっております。

知識、技術、役不足の私ですが、「うん、そうだよな。」と、胸の内を語れる仲間が好きです。一人の思いを 私達の想いへ広げることが好きです。立派に振る舞うことよりも、バトンランナーとして次世代の方々が楽しくなることに、汗をかきたい、恥をかきたい、夢を描きたいと思っています。当事者・利用者・入居者・家族・職員・地域住民・想いを寄せる仲間達が、『光友会事業推進協議会』に関わることで得られる「醍醐味、生き甲斐、楽しみ」とは何かを模索していきたいと思うのです。

『光友会事業推進協議会』を通じて、光友会を支えると共に、光友会から「うん、そうだよな。」の輪を地域社会に発信していきませんか。そんな想いに包まれたくて、会長職をお受けしました。よろしく願いをいたします。

編集後記

熱いはずのワールドカップも期待外れに終わり、でも暑い夏本番となりました。3.11から3年が経過しましたが、電力事情に大きな改善はなく、今年も電力不足が予想されます。皆で省エネに努めることはもちろんですが、資源・エネルギー問題について考えるきっかけにもなります。人間の生活水準は資源・エネルギーの消費量と連動しており、私達の考え方、意識によって答えが異なる問題です。夏は暑いのが当たり前、冬は寒いのが当たり前と割り切ることができるか、たまにはこんなことも考えて欲しいと思います。(A.O.)

なお、本紙掲載の写真につきましては本人・家族、又は団体等の了解を得ています。

❁❁❁ 編集委員 ❁❁❁

五十嵐(本部)、森(総務部)、松井・井地・伴(就労支援部)、大貫(地域生活部)、古田・澤野(藤沢南部地域福祉部)、村井(磯子地域福祉部)

季刊 LFA 第122号

発行日 2014年7月
発行責任者 光友会 五十嵐 紀子 理事長
発行所 〒252-0825 藤沢市瀬郷1008-1 社会福祉法人 光友会本部 電話 0466-48-1500
印刷所 神奈川ワークショップ